

第4回武蔵野市図書館運営委員会選書部会の記録

日 時 平成 17 年 1 月 31 日（月） 午後 6 時 30 分
場 所 中央図書館 4 階会議室
出席委員 毛利和弘部会長 赤星昌子委員 石田和以委員
山本輝子委員 米山吉祥寺図書館長 丸本サービス担当係長
事務局出席職員 三木館長 村田課長補佐 柏倉図書担当係長
並木主任 尾上主事 船崎専門委員

議題及び内容

○ 主な協議内容

(1) 議題

- ① 武蔵野市図書館の選書について
 - ・新聞・雑誌の選書方針について
 - ・リサイクル基準、除籍基準について
- ② その他

新聞、雑誌の所蔵状況・収集方針等を事務局から説明。なお、主な意見等は以下のとおり。

- ・最近の雑誌は一般的なものより特化型のものが多く見られる。社会の動きを取り入れながら選書することもある。
- ・人気が無くなって、休刊、廃刊するものもあるので情報を早めにキャッチして人気があるものに換えていくことはできないか。→事前に知ることは難しい。
- ・雑誌の販売部数を見て、決める方法もある。
- ・ニーズが少ないものにも配慮しつつ、流動性はあってもよい。時代の流れに合わせながら、収集の巾を持たせたらいいだろう。
- ・洋雑誌を選ぶときには利用者の要望を取り入れた。洋雑誌のニーズは満たされていると考えられる。
- ・雑誌の最新号は貸出ができないので、持ち出されることが多い。保存期限が 1 年のものは持ち出されても補充はしない。永久保存で貴重なものは補充している。
- ・雑誌を検索すると、いつ見てもないものがあり、貸出か不明なのか分かりづらい。
- ・リサイクル本は、状態が悪くて買い替え、古いものを出す場合が殆んどである。
- ・状態のいい飼育の本がリサイクルに出ていたことがある。→あまり読まれていない本もリサイクルに出す場合がある。
- ・除籍の基準は、選書の基準と裏腹の関係で、蔵書構成に関わることなので選書部会で検討すべきことである。→除籍基準はある。
- ・専門書の中には、除籍せずに改版ごとに保存しなければならないものもある。

次回 平成 17 年 3 月 14 日（月）午後 6 時 30 分から